



明日のスケッチ

* 岡崎友紀 *



明日のスケッチ

岡崎友紀

近代映画社

明日のスケッチ

定価 七八〇円

発行日 昭和四十八年七月三十一日第一刷

昭和四十八年八月三十日第二刷

著者 岡崎友紀

発行者 小杉益二郎

発行所 株式会社 近代映画社

〒105 東京都港区西新橋二の七の四

第20森ビル9階

電話東京五九一―七一〇一(代表)

印刷所 大日本印刷株式会社

製本所 大日本印刷株式会社

装幀者 中原史人

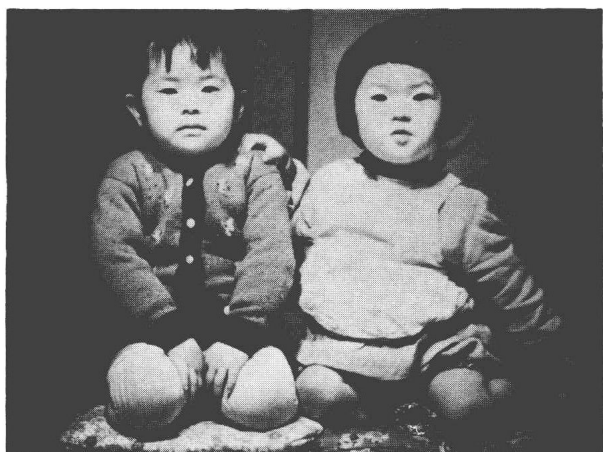
落丁・乱丁はお取替えいたします





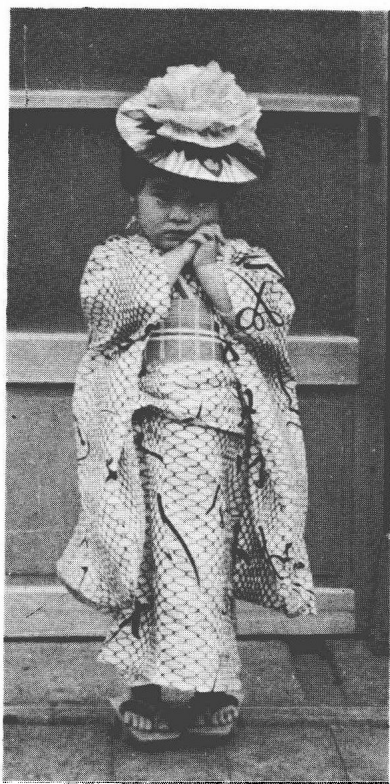
1 歳のお誕生日の時に

いとこの、けいこちゃんと

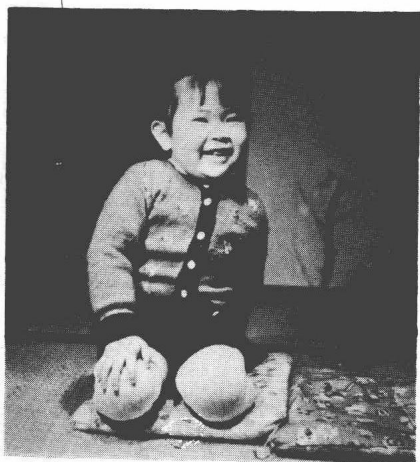




七五三の3つの時、観音さまの境内で



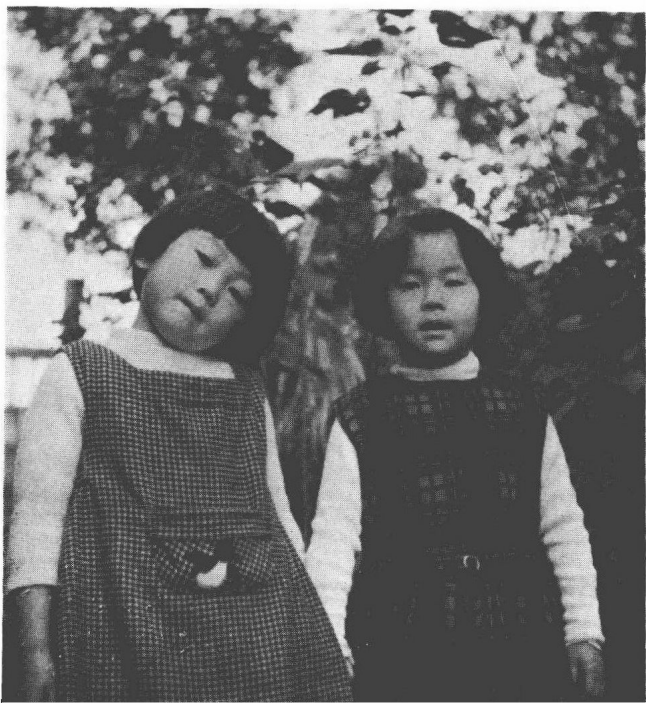
浅草でお祭りの時に。多分、3つになる前かな…



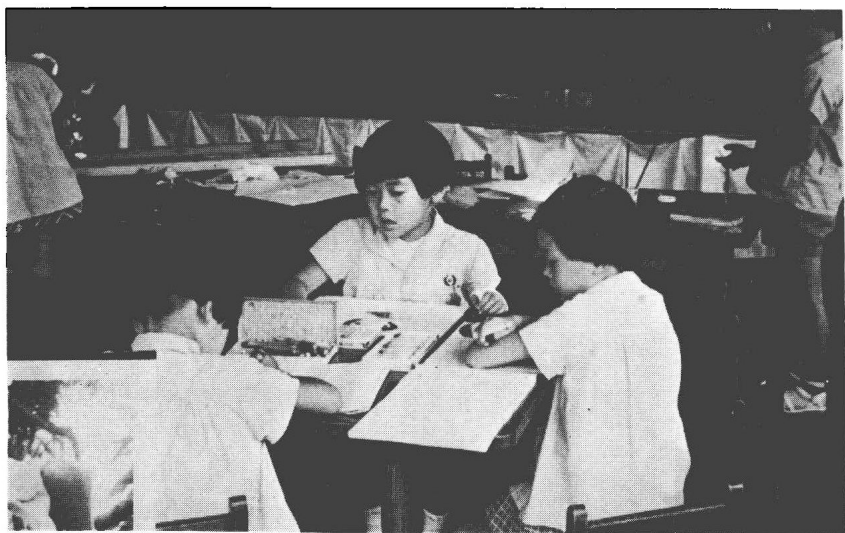
2つ？
3つ？
よくわかりません



はじめてのバレエの発表会、4歳、“むすんでひらいて”



いとこの上野紗千子（さっちゃん）と、彼
女の浦和の家の庭で、4歳ぐらいかな……

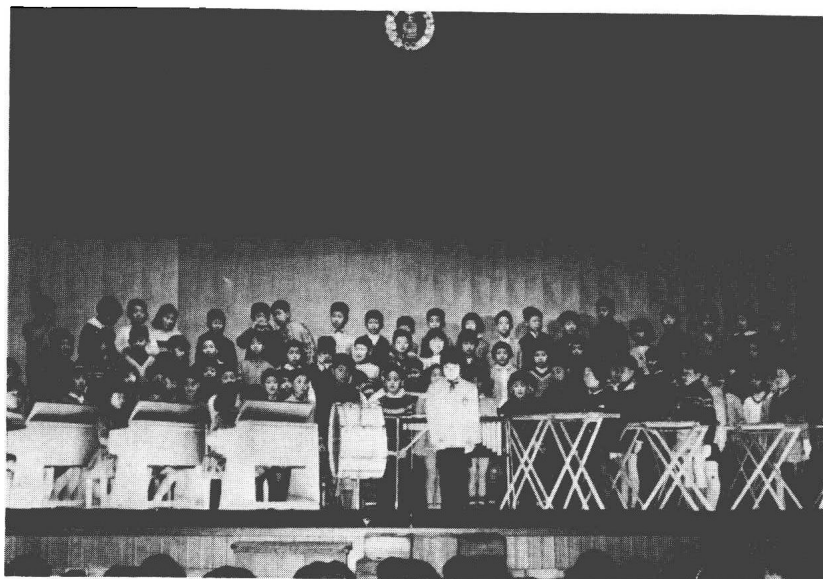


幼稚園のお画かきの時間



最愛の私のマミといっしょ

七五三の7つの時、うしろ
はママ（ヤセてるッ!）



小学校2年生の時の音楽会で、コンダクターをやりました（富士見小学校）



小学校4年かな？

東宝芸能学校の帰り途中で



小学校6年の時、ミュージカル「王様と私」をやった時、皇太子チュラロンコン役。初演は梅コマ、2回目は東京宝塚劇場



中学2年の時、帝劇でミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」に出た宣伝写真、隣はいしだあゆみさん



中学2年の時、東宝芸能学校中等科の発表会で「にわか獅子」を踊りました
此为试读, 需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

明日のスケッチ

スーパーガール岡崎友紀

前田 武彦

職業は？ と訊かれれば、テレビタレントですと答える僕だが、以前はテレビやラジオの脚本を書いていて、これでも原稿を書くことは慣れているつもりである。ところが友紀ちゃんの本のために書くとなると、何故か気おくれして、書き出してから悩んでしまうのだ。つまりこれは僕が彼女に対して大変コムプレックスを感じている証拠なのである。

年齢は十二支でかつきり二廻り違う、つまり二十四歳もへだたりがあつて、共にへビ年である。だから気が合うのだなどと、あまりアテにならぬ理屈をつけて仲良く話をしたりふざけ合っているが、どちらかと云うと二十四歳も年下の彼女の方が僕に話を合わせ、遊び相手をしてくれているというのが真相だ。

ふたりとも種々雑多なテレビ番組に出ているから、スタジオで顔を合わせる

事は珍しくないが、フジテレビの「お嫁さんに決めたー」というドラマに共演してやつと彼女の内面を少し知る事ができた。そして知るほど先に述べたコムプレックスを感じはじめたのである。

まず第一に仕事熱心な点。ぼくだって好きでやっている仕事だから忙しくなることはそれほど嫌いではないつもりだが、彼女ときたらまさに人間ばなれした体力と気力を持っていて、どんなに朝早やかろうが、夜更けになろうが、仕事の場合にあつては常に元氣ハツラツ、澄んだ眼と声はまるで遠足の朝の小学生のように輝やいているのだ。僕はこの信じられないような彼女の能力の裏には何か秘密があるに違いないとにらんだ。仕事場を一步はなれると俄かに変身して不愛想にふてくさり、わがままの云い放題でダラケきつた人間になる、そうだしつとそうに違いないと思った。

ところがロシアン・スヌービー（云い忘れたが、これは彼女のお母さんに僕がつけたアダ名）にそれとなくきいてみると意外や意外、家でもニコニコハイハイ、スタジオとまったく変らないと云う。これが雑誌記者の質問に対してなら、外面をとりつくろつての母親の答えと考えられるが、僕と話している時の

ロシアン・スヌーピーにはそんな構えのない事はよく解る。となると裏も表もなく友紀ちゃんという人はいつも明るく元気に張り切っているスーパー・ガールということになる。感心を通りこしていささか不気味でさえある。しかし明るく元気な、というだけなら健康優良児的でそれほど魅力はないが、その上に細やかな神経と多彩な才能を持っているところが彼女の真価であり、僕がコムプレックスを更に強く感じる点なのである。

歌手として、彼女は音程もリズム感もそのへんのヒット歌手と比べものにならない正確さを持っている。フィーリングがいささか欠けるという批判もなくはないが、元来そうしたテクニクは音程やリズムを正確につかんで後に身につけるものであって、いきなりそういうものを頼りにしている他の多くの歌手にくらべて、ずっと優れていると僕は思う。それにテクニクといえば、他の歌手の物真似をやらせると抜群の旨さを発揮するのも驚異的で、僕が例えば天地真理は可愛いくて好きだねと云えば即座に天地真理の声で唄い出し、からかうといった調子だ。

女優として、……これは彼女のドラマ出演の数が証明するように、まことに

テレビドラマに欠かせない存在である。「お嫁さんに決めた！」では僕もセリフのやりとりをだいたいやらせてもらったが、表情、ことにあの大きな眼（ほんとはそれほど大きくないかもしれないのに本当によく動く！）それにセリフの暗記力は抜群で、チラリと台本を見て、もう次は台本なしでスラスラと、明快に喋りまくる。昔は台本かきをしていた僕なので、正確に自然に喋ってくれる女優さんは本当に好もしく思えるのだ。

その他の出演者として、……司会や解答者、あるいはワイドショーのゲスト、「ゲバゲバ90分」のようなコント役者、どれをやらせても合格点を遙かに上廻る成績だ。しかし僕がコムプレックスを感じているのはそうした仕事の才能だけではない。仕事の合い間の、例えばドラマで出番を待つ間、食事やお茶の時間などに見せる彼女の才能こそほんとうに価値があると思うのだ。仕事のムシといわれる人にはないユーモア、冗談を交わしていて二十四歳も年下の子供（失礼ノ）とは思えない楽しさがある。

S F 殊に星新一さんのショートショートが好きで、よく読みよく覚えている事が会話を楽しくさせるのだろう。僕も好きでよく台本の裏などに誰かの似顔